

R6事業(よろず相談)の主な成果

- **各団体の個別取組底上げ**：全団体に担当コンシェルジュを配置し、月1回のオンライン相談で本格的な伴走支援
- **共創・協働コミュニティの創出**：チャットツールの導入などにより、関係者が知識や経験を共有する助け合いが進行
- **ステークホルダーの関係性深化**：地域別相談や合同研修により、市町村・県・専門人材チームの繋がりが深化

初回面談

〈オンライン〉

各種よろず相談(個別・地域別・分野別)

〈訪問・オンライン〉

最終面談

〈オンライン〉

支援分類と目標設定

事業を通じて、専門人材チームが各団体を客観的に分類

- 【4 共創】課題を自ら解決し、他自治体を牽引できる団体
- 【3 協働】課題について判断し、外部支援を活用できる団体
- 【2 支援】課題に対する要求・要件定義など、伴走支援が必要な団体
- 【1 関与】課題の整理をはじめ、全体的に関与が必要な団体

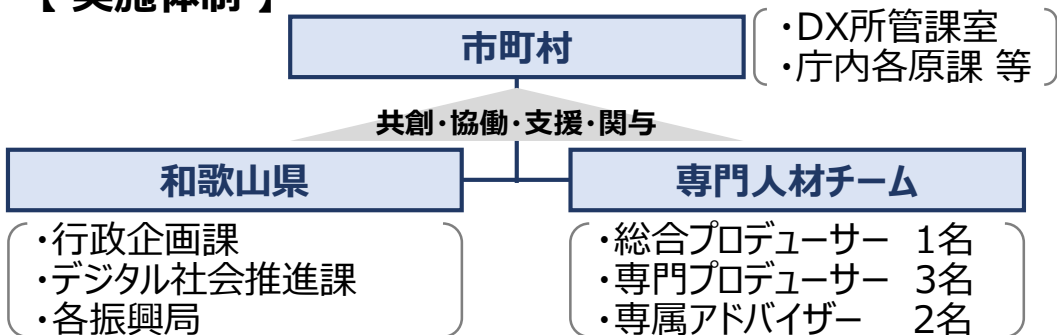
〈ステップアップのイメージ〉

	R5年度	R6年度	R7年度
4 共創	2団体	6団体	12団体
3 協働	10団体	22団体	18団体
2 支援	12団体	2団体	
1 関与	6団体		

目標進展

R7年度の事業(案)

【実施体制】

✓ 国制度も活用しながら、**多角的な自立支援体制を構築**

【事業内容のポイント】

① 共助促進・関係性継続に向けた広域連携

- 希望市町村による「テーマ別よろず相談」の実施
- 「地域別よろず相談」や「合同研修」の継続

② メリハリのある柔軟な個別支援

- 専属アドバイザーによる「定例相談」の実施
- テキストベースの「チャット相談」で困り事に随時対応

③ 自主的なDX推進を目指す仕組みづくり

- 自立・共創・協働に向けた「DX推進方針」の検討
- 取組・知見・情報を蓄積する「ナレッジベース」の構築